

多過ぎる選択肢は必ずしも幸福をもたらさない。

多過ぎる選択肢は必ずしも幸福をもたらさない。米コロンビア大の女性人気教授、シーナ・アイエンガー（42）の研究結果である。（略）

教授は人間の選択行動を実験で確かめた。食料品店の試食コーナーに24種類のジャムを並べた時と、6種類のジャムを並べた時とで比較すると、6種類の時の方がよく売れた。

なぜか。人間は、**情報処理能力を超える過剰な選択肢を示されると当惑し、判断を保留する**。結果として間違った選択へ追い込まれ、より良い結論にたどりつけないことがある。（略）

教授の結論はこうだ。より良い選択にたどり着くカギは**過去の選択の検証**であり、**情報に基づく直感**である――。

アイエンガー語録から、もう一節。人生は選択と偶然と運命で決まるが、最も強力に作用するのは**選択**だ――。（略）

～風知草「選択の意味」（山田孝男）＜毎日新聞（12.11.19）＞より～